

出雲 新規就農者の苦労わかって 大田県議が農家を訪ねて懇談

日本共産党の大田陽介県議は7日、11日の両日、出雲市内の農家や農産物加工会社などを訪ね、懇談しました。



安倍政権はTPPの強行や企業の農地参入、種子法の廃止など農業者の声には耳を貸さず、目先の利益を第一とする財界の言うままに、農業つぶしの暴走を続けています。5年前に兵庫県からIターンし、柿農家を経営する男性は「販路開拓など新規就農者ならではの苦労がある。行政が主催するIUTAインナーのネットワーキング会議があるが、生産に追われ、

参加できない人が多い。情報交流できる場があれば」などと語りました。(写真)

7年半過ぎた飯館村の現状は… 樋野伸一 原発ゼロの会 共同代表

島根原発エネルギー問題県民連絡会は11日、松江市で「原発事故7年半、福島現状報告会」を開きました。原発ゼロの会の樋野伸一共同代表がフクシマで実際に見てきた現状を報告しました。

樋野氏は、現地の様子をスライドで上映しながら、①事故原発廃止措置ロードマップで2013年11月に終わる

先輩党員から大いに学ぶ

最近お会いした3人の素敵な先輩をご紹介します。一人は元衆議院議員の児玉健次さん。児玉



前衆議院議員 児玉健次

大平よしのぶ



先日直接お会いする機会がありました。小泉政権下での海外派兵法を巡るたたいの先頭に立ち、「国旗国歌法」や国立大学の独立行政法人化など文教分野での論戦など議員時代の活躍をお聞きしました。また、児玉さんも一時期落選されていたことがあったそうで、その経験から今の私が置かれているこの時期の大切さやその心構えについても、ご教授いただきました。穏

やかで謙虚な姿を含め大変学ばされました。もう一人は豪雨災害で甚大な被害のあった呉市安浦町市原地区で自治会長をされている中村正美さん。ご自身も自宅が全壊、2町2反の田んぼも壊滅的な被害を受けながら、豪雨の最中、一人ひとりに何度も避難を呼びかけ、山崩れ発生後は消防への救助要請と安否確認に走り、家屋の下敷きになった方の救出も。今は地区内すべての農地の被害状況を詳しくまとめ、復旧に向けて行政にかけあっています。「被災者の生活がこれ以上破壊されてはならない」と話す中村さんの頑張り、何

たりません。先日ラインを交換すると、早速「要請、強くお願いします」とメッセージが届きました。事態打開へ政府交渉も重ねているところです。三人目は登山家・牧野一見さん。先日の休日、北広島町の寒曳山に二人で登りました。日本三百名山をほぼ制覇した話、豪雪への挑戦から熊との対峙まで、数々の武勇伝をお聞きし驚きの連続でした。沖縄県知事選応援の大奮闘ぶりもイキイキと語られました。お三方とも日本共産党員。わが党には偉大で魅力的な先輩がたくさんおられます。学び尽くさねばなりません。(10月31日付)

くらしと命を守る県政へ ⑫県民の民意は…(党県議団・市民アンケートより③)

前号に続き、日本共産党県議団(尾村利成、大田陽介両県議)が今年6月から松江市・出雲市で取り組んでいる「市民アンケート」の中間集計についてお知らせします。今回は「記述欄」に記載されていた主な意見を紹介します。

Q1. 暮らし向きについて

- 年金改悪、軍事費増大で生活に重点が置かれない政治が続いている。
- アベノミクスとやらは夢の夢。後期高齢者医療や介護保険の保険料など、引き去られるものは増え、年金は減って生活は悪くなるばかり。
- 格差が拡大した。弱者いじめである。

Q2. 子育て支援について

- 来年から幼児教育が無償になるが、働く親にとって保育所が足りていない方が問題。
- せめて中学卒業まで医療費を無料化してほしい。

Q3. 暮らし・雇用の改善について

- 大企業だけが優遇される現状を打破してほしい。
- 自民党は大企業経営者(経団連)の意見しか取り入れない。内部留保を崩して賃金にまわすべき。
- 労働法制の改悪は許せない。

Q4. 県政・市政に望むこと

- 国の政策にただ従うのではなく、住民の利益にかなっているのかを第一に考える県政・市政であってほしい。

◆日本共産党がめざす島根県政◆

①くらしと福祉最優先の県政、②憲法を守り生かした県政、③原発ゼロの安全・安心の県政—3つの転換をはかります。

Q5. 議会、議員に望むこと

- 毎議会質問に立ち、私たちの声を議会に届けることは、議員の義務だと思う。
- 議会報告を紙で知らせるだけでなく、きちんと住民向けの報告会を各会派あげて行うべき。
- 政務活動費でわが家の家賃を払っていた議員は即刻辞職するのが当然。

Q6. 原子力発電(島根原発)について

- 地震の多い日本で原発をつくること自体理解できない。
- 再稼動なんて冗談じゃない。世界は脱原発が潮流なのに、福島原発事故から何を学んだのだろう。

Q7. 憲法9条改定について

- 子や孫の世代を戦争に行かせるはいけません。現在の9条は死守すべきです。
- 自由にモノが言えず、探り合うような昔の時代はイヤ。

Q8. 地域での要望、日本共産党や政治へのご意見など

- 一日も早く「原発ゼロ基本法案」を審議し制定してほしい。
- もっと党勢を拡大して、他の野党勢力を結集して一刻も早く安倍政権を退陣させてください。